



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3534		
科目名	インテリジェンス論 2 (セミナー形式)		
担当教員	古谷 洋一		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 1		
講義室	1315	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け (開発能力)	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP7-C [他者理解・倫理観・公共心] 人間の行動の正誤に関する推論に正面から 取り組み、社会的な存在としての自己の行 動原理を獲得することができる。 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し 利用することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効 かつ円滑に行い、課題の解決につなげること ができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連 C1 倫理的思考・社会認識 (10%) E1 学識と専門技能 (40%) G1 状況把握 (10%) I1 理解・分析と読解 (20%) I3 情報分析 (20%)		
教員の実務経験	1986年に警察庁に入庁し、以後35年余にわたり、警察庁での治安政策立案と都道府県警察での治安対策実施に従事するほか、内閣官房、在外公館でも関連業務を担当した経験を踏まえ、インテリジェンスをめぐる諸問題について説明します。(第2～6、8～14回)		
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	複雑多様化する国際情勢の下、各国は、政治、軍事、経済、科学技術など様々な分野でのインテリジェンス活動を活発に行っています。そのような中で、重要な情報や関係者を保護して国益を守るため、外国のインテリジェンス活動の脅威を把握し、これに対処するカウンターインテリジェンス (C I) は極めて重要な役割を果たしています。最近の経済安全保障や不拡散の議論でも、またテロ対策においても、C I の観点は欠かせません。内外の事例を取り上げながら、C I の機能、組織、手法、そして我が国の課題について考察します。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：インテリジェンス、カウンターインテリジェンス、秘密保護		
授業の趣旨	■副題 カウンターインテリジェンスについて理解する。 ■授業の目的 C I は、多くのコストを必要とする一方で効果が見えにくく、情報収集・分析の分野に比べて語られることも少ないため、その重要性や実情が必ずしも十分に理解されていません。スパイ摘発だけではない地に足の着いた知識と理解の獲得を目的とします。 ■授業のポイント		

	海外の制度や実践も踏まえながら、我が国のC Iの現状と今後の在り方について、コストや人権とのバランス、民間部門における対応なども含め、幅広い視点で学修します。									
総合到達目標	■一般目標（GIO） カウンターインテリジェンスの機能及び我が国のC Iの現状と課題について説明できるようになる。 ■個別行動目標（SBOs） ・我が国に対する外国のインテリジェンス活動について説明できるようになる。（第2～6、9回） ・C Iの基本的な手法について説明できるようになる。（第8～14回） ・我が国のC I体制や秘密保護制度について説明できるようになる。（第10～14回）									
成績評価方法	■リアクション・ペーパー13回（30%）：適用ルーブリック C1・E1・G1・I1・I3 （評価の観点）講義内容の理解度を評価します。 （フィードバックの方法）次回授業時に解説を行います。 ■授業内試験2回（60%）：適用ルーブリック C1・E1・G1・I1・I3 （評価の観点）理解の正確さのほか、論理性・体系性を勘案して講義内容の定着度と応用力を評価します。また、文章表現の的確性も勘案します。 （フィードバックの方法）試験終了後、授業内で論点等を解説します。 ■授業参加度（10%）：適用ルーブリック C1・E1・G1・I1・I3 （評価の観点）積極的なインプットによる授業貢献度を勘案します。									
履修条件	ありません。									
履修上の注意点	事前配布資料（事前に指定するウェブ文献を含む。）を確実に読んで授業に臨んでください。									
授業内容	<table><tr><th>回</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ ガイダンス、カウンターインテリジェンスとは ②授業概要 ・C Iの概念について説明できるようになる。（C1・E1・I1） ・授業の進め方と評価方法について説明するほか、講義全体の導入として、C Iとは何かを解説し、その必要性等について考察します。 ③予習（120分） シラバスを読み、講義の流れを把握しておく。 ④復習（120分） C Iの概念及びC Iが不十分な場合に考えられる具体的リスクについてノートに整理する。</td></tr><tr><td>2</td><td>①授業テーマ 対日インテリジェンス活動 ②授業概要 ・我が国を対象とするインテリジェンス活動の状況を説明できるようになる。（E1・I1） ・担当教員の実務経験を踏まえて、我が国を対象とする各国のインテリジェンス活動の意図、手法等を解説し、それぞれの特徴について考察します。 ③予習（120分） 事前配布資料を読むとともに、聞いたことのある諜報事件（スパイ事件）について調べてみる。 ④復習（120分） 我が国を対象とするロシア、中国、北朝鮮、米国のインテリジェンス活動について、その意図、手法等をノートに整理する。</td></tr><tr><td>3</td><td>①授業テーマ ヒューミント（HUMINT） ②授業概要 ・情報収集手法としてのヒューミントの特徴について説明できるようになる。（C1・E1・I1） ・担当教員の実務経験を踏まえて、ヒューミントの概念や基本的技法を解説し、その特徴について考察します。 ③予習（120分） 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習（120分） インテリジェンス機関の職員になったつもりで、何人かの知人又は著名人を想定し、その所属組織・団体の秘密情報を入手するための情報源（リクルートの対象）としての適格性を評価してみる（適否の理由を具体的に考える）。</td></tr></table>		回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス、カウンターインテリジェンスとは ②授業概要 ・C Iの概念について説明できるようになる。（C1・E1・I1） ・授業の進め方と評価方法について説明するほか、講義全体の導入として、C Iとは何かを解説し、その必要性等について考察します。 ③予習（120分） シラバスを読み、講義の流れを把握しておく。 ④復習（120分） C Iの概念及びC Iが不十分な場合に考えられる具体的リスクについてノートに整理する。	2	①授業テーマ 対日インテリジェンス活動 ②授業概要 ・我が国を対象とするインテリジェンス活動の状況を説明できるようになる。（E1・I1） ・担当教員の実務経験を踏まえて、我が国を対象とする各国のインテリジェンス活動の意図、手法等を解説し、それぞれの特徴について考察します。 ③予習（120分） 事前配布資料を読むとともに、聞いたことのある諜報事件（スパイ事件）について調べてみる。 ④復習（120分） 我が国を対象とするロシア、中国、北朝鮮、米国のインテリジェンス活動について、その意図、手法等をノートに整理する。	3	①授業テーマ ヒューミント（HUMINT） ②授業概要 ・情報収集手法としてのヒューミントの特徴について説明できるようになる。（C1・E1・I1） ・担当教員の実務経験を踏まえて、ヒューミントの概念や基本的技法を解説し、その特徴について考察します。 ③予習（120分） 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習（120分） インテリジェンス機関の職員になったつもりで、何人かの知人又は著名人を想定し、その所属組織・団体の秘密情報を入手するための情報源（リクルートの対象）としての適格性を評価してみる（適否の理由を具体的に考える）。
回	内容									
1	①授業テーマ ガイダンス、カウンターインテリジェンスとは ②授業概要 ・C Iの概念について説明できるようになる。（C1・E1・I1） ・授業の進め方と評価方法について説明するほか、講義全体の導入として、C Iとは何かを解説し、その必要性等について考察します。 ③予習（120分） シラバスを読み、講義の流れを把握しておく。 ④復習（120分） C Iの概念及びC Iが不十分な場合に考えられる具体的リスクについてノートに整理する。									
2	①授業テーマ 対日インテリジェンス活動 ②授業概要 ・我が国を対象とするインテリジェンス活動の状況を説明できるようになる。（E1・I1） ・担当教員の実務経験を踏まえて、我が国を対象とする各国のインテリジェンス活動の意図、手法等を解説し、それぞれの特徴について考察します。 ③予習（120分） 事前配布資料を読むとともに、聞いたことのある諜報事件（スパイ事件）について調べてみる。 ④復習（120分） 我が国を対象とするロシア、中国、北朝鮮、米国のインテリジェンス活動について、その意図、手法等をノートに整理する。									
3	①授業テーマ ヒューミント（HUMINT） ②授業概要 ・情報収集手法としてのヒューミントの特徴について説明できるようになる。（C1・E1・I1） ・担当教員の実務経験を踏まえて、ヒューミントの概念や基本的技法を解説し、その特徴について考察します。 ③予習（120分） 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習（120分） インテリジェンス機関の職員になったつもりで、何人かの知人又は著名人を想定し、その所属組織・団体の秘密情報を入手するための情報源（リクルートの対象）としての適格性を評価してみる（適否の理由を具体的に考える）。									

4	①授業テーマ 秘密諜報員 (SECRET AGENT) ②授業概要 ・秘密諜報員の特徴とこれに対するC I当局の一般的な監視手法を説明できるようになる。(C1・E1・I1) ・米国NOCやロシアILLEGALの身分偽装の例を取り上げ、その特徴とインテリジェンス活動における意味について考察します。 ③予習 (120分) 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習 (120分) 米国NOCとロシアILLEGALの特徴と偽装手法としての長所短所をノートに整理する。
5	①授業テーマ ハニートラップ (HONEY TRAP) ②授業概要 ・ハニートラップの実態とこれへの対処法について説明できるようになる。(C1・E1・I1) ・担当教員の実務経験を踏まえて、ハニートラップの実態を解説し、その特徴と対処法について考察します。 ③予習 (120分) 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習 (120分) 在上海総領事館電信官自殺事件 (2004年) について、どのように対処すべきであったかを時系列に沿ってノートに整理する。
6	①授業テーマ シギント (SIGINT) ・イミント (IMINT) ・オシント (OSINT) ②授業概要 ・情報収集手法としてのシギント等の特徴について説明できるようになる。(C1・E1・I1) ・担当教員の実務経験を踏まえて、シギント等の概念やその方法を解説し、それぞれの特徴について考察します。 ③予習 (120分) 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習 (120分) ヒューミント、シギント、イミント、オシントの情報収集手法としての長所短所を比較してノートに整理する。
7	①授業テーマ 中間試験と前半のまとめ ②授業概要 第6回までの講義内容から出題し、試験終了後、問題の解説を通じて講義前半のまとめをします。(C1・E1・I1) ③予習 (120分) 第6回までの講義内容 (配布資料、ノート) を見直しておく。 ④復習 (120分) 解説に基づき答案を再構成する。
8	①授業テーマ 米国の失敗事例と教訓 ②授業概要 ・エイムズ事件、ハンセン事件、ハワード事件の内容と教訓事項について説明できるようになる。(C1・E1・G1・I1・I3) ・担当教員の実務経験を踏まえて、各事件から得られるC I上の教訓について考察します。 ③予習 (120分) 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習 (120分) 各事件の教訓事項をノートに整理する。
9	①授業テーマ 日本の失敗事例と教訓 ②授業概要 ・ボガチョンコフ事件 (2000年)、内調情報漏洩事件 (2008年) の内容と教訓事項について説明できるようになる (C1・E1・G1・I1・I3) ・担当教員の実務経験を踏まえて、各事件から得られるC I上の教訓について考察します。 ③予習 (120分) 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習 (120分) 各事件の教訓事項をノートに整理する。

10	①授業テーマ 日本のC I 体制とC I ポリシー ②授業概要 ・日本政府のC I に関する体制と基本方針について説明できるようになる。(C1・E1・I1) ・担当教員の実務経験を踏まえて、政府のC I 体制とC I ポリシーを解説し、海外との比較を交えてその特徴について考察します。 ③予習(120分) 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習(120分) 我が国のC I 体制とC I ポリシーの内容をノートに整理する。
11	①授業テーマ 秘密保護制度 ②授業概要 ・我が国の秘密保護制度について説明できるようになる。(C1・E1・I1) ・担当教員の実務経験を踏まえて、特定秘密保護法を含む我が国の秘密保護制度を解説し、海外との比較を交えてその特徴について考察します。 ③予習(120分) 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習(120分) 我が国の秘密保護制度の概要を系統的にノートに整理する。
12	①授業テーマ セキュリティクリアランス ②授業概要 ・セキュリティクリアランスについて説明できるようになる。(C1・E1・I1) ・担当教員の実務経験を踏まえて、セキュリティクリアランスの制度を解説し、運用上の課題について考察します。 ③予習(120分) 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習(120分) 特定秘密保護法に規定する適性評価の各調査事項について、それらが選ばれている理由をノートに整理するとともに、自分について自分なりに適性評価をしてみる。
13	①授業テーマ 民間セクター等の取組 ②授業概要 ・我が国の民間セクター等におけるC I への取組状況と課題について説明できるようになる。(C1・E1・G1・I1・I3) ・担当教員の実務経験を踏まえて、企業、大学、研究機関等におけるC I への取組を解説し、問題点と今後の課題について考察します。 ③予習(120分) 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習(120分) 民間セクター等におけるC I の取組状況と課題について分野別にノートに整理する。
14	①授業テーマ C I 推進上の課題 ②授業概要 ・C I 推進上の我が国の課題について説明できるようになる。(C1・E1・G1・I1・I3) ・担当教員の実務経験を踏まえて、米国C I 担当部署元幹部による「C I 十戒」(Ten Commandments of Counterintelligence)を取り上げつつ、C I 推進上の課題について考察します。 ③予習(120分) 事前配布資料を読み、疑問点等をまとめておく。 ④復習(120分) C I 推進上の我が国の課題についてノートに整理する。
15	①授業テーマ 期末試験と全体のまとめ ②授業概要 講義全体の内容から出題し、試験終了後、問題の解説を通じて講義全体のまとめをします。(C1・E1・G1・I1・I3) ③予習(300分) 第14回までの講義内容(配布資料、教科書、ノート)を見直しておく。 ④復習(60分) 解説に基づき答案を再構成する。

関連科目	「インテリジェンス概論RMGT1305」（1年次後学期配当）、「インテリジェンス論 1 RMGT3527」（3年次前学期配当）、「サイバーセキュリティ論RMGT3573」（3年次後学期配当）
教科書	使用しません。
参考書・参考URL	・小谷賢『インテリジェンス—国家・組織は情報をいかに扱うべきか』筑摩書房（2012） ・小林良樹『なぜ、インテリジェンスは必要なのか』慶応義塾大学出版会（2021） ・マーク・M・ローエンタール『インテリジェンス—機密から政策へ』慶応義塾大学出版会（2011） ・茂田忠良「米国国家安全保障庁の実態研究」警察政策学会資料第82号（2015） ・警察庁警備局『治安の回顧と展望（令和4年版）』（2022） https://www.npa.go.jp/bureau/security/publications/kaiko_to_tenbou/R4/R4kaiten.pdf ・カウンターインテリジェンス推進会議 https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/counterintelligence/index.html ・FEDERAL BUREAU OF INVESTIGATION ; Counterintelligence https://www.fbi.gov/investigate/counterintelligence ・SECURITY SERVICE MI5 ; Counter-Espionage https://www.mi5.gov.uk/counter-espionage
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜1限。それ以外の時間帯も、必要に応じてメール等を通じた事前予約により対応します。
研究比率	■ 危機管理領域との対応 災害マネジメント0%；パブリックセキュリティ40%；グローバルセキュリティ40%；情報セキュリティ20% ■ 危機管理学と法学のバランス 危機管理学75%；法学25%

